

いいだ 市議会だより

編集/市議会だより編集委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町

NO. **183**

平成24.10.23



R100
古紙配合率100%紙

第3回定例会開催
行政評価・提言
議会改革
ズバリ市政を問う(一般質問)

- ②
- ③
- ④
- ⑥ ⑦



千代の「よこね田んぼ」稲刈り



本会議の様

9月定例会

平成24年度一般会計補正予算(第3号)案など 全議案を可決・同意又は認定

定例会のあらまし

第3回定例会は、8月28日から9月26日まで30日間の会期で開催されました。

平成23年度一般会計及び特別会計の決算認定案件15件が上程され、いずれも認定されました。

また、不活化ポリオワクチンによる予防接種事業費等を盛り込んだ平成24年度一般会計補正予算(第3号)案など29件が上程され、うち10件は報告を受け、人事案件6件を本会議で同意、13件は所管の委員会での慎重な審査を経て、本会議でいずれも原案のとおり可決されました。

請願・陳情については、請願4件、陳情1件が提出されました。請願は、4件すべてを採択し、陳情は趣旨採択としました。

また、一般質問では、18人の議員が、市政全般にわたる質問を行いました。6ページから紹介します。

同意した人事(敬称略)

- 教育委員会委員 近藤真子
- 南部財産区管理委員 矢澤伸勇、佐々木章、葛岡博、伊藤壽昭
- 中央財産区管理委員 大田中峰雄
- 羽場財産区管理委員 丹羽邦勝、西尾保夫、熊谷順二、栗林一彦
- 野底財産区管理委員 松下尚弘、久保田久次、山口秀文、原廣明、向山昭雄、半崎正利
- 東野財産区管理委員 菅沼雅治

議案等に対する

質疑と審査

提出議案等については、総務文教、社会、産業経済、建設環境の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。質疑の内容は、各常任委員会のページで紹介します。

平成23年度飯田市各会計の決算を認定

(単位:千円)

会計名	歳入決算	歳出決算	差引	
一 般 会 計	45,580,002	43,981,855	1,598,147	
国民健康保険特別会計	事業勘定	9,729,113	9,269,628	459,485
	直診勘定	3,588	3,581	7
後期高齢者医療特別会計	1,085,471	1,047,519	37,952	
介護保険特別会計	9,521,061	9,509,561	11,500	
地方卸売市場事業特別会計	20,071	14,974	5,097	
駐車場事業特別会計	69,067	60,698	8,369	
墓地事業特別会計	24,102	22,424	1,678	
簡易水道事業特別会計	179,272	174,255	5,017	
下水道事業特別会計	4,600,125	4,424,027	176,098	
介護老人保健施設特別会計	538,355	501,927	36,428	
上村デイサービスセンター特別会計	32,898	29,946	2,952	
ケーブルテレビ放送事業特別会計	140,283	128,347	11,936	
病院事業会計		13,049,022	13,272,218	△223,196
	収益的収支	11,705,209	11,255,661	449,548
	資本的収支	1,343,813	2,016,557	△672,744
水道事業会計		2,310,892	3,012,478	△701,586
	収益的収支	1,973,817	1,920,850	52,967
	資本的収支	337,075	1,091,628	△754,553
特別会計等の計	41,303,320	41,471,583	△168,263	
合 計	86,883,322	85,453,438	1,429,884	

市の会計には、基本的な行政運営の経費を経理する一般会計と、特定の行政サービスを提供するための経費を経理する特別会計とがあります。特別会計には国民健康保険、下水道、水道、病院など14の会計があります。

平成23年度の決算において、一般会計と特別会計を合わせた歳入の合計は、86億8千3百万円余、歳出は85億4千3百万円余となり、差し引き14億3千万円弱の黒字となりました。

各委員会に付託され、審査し決算を認定しました。

※一般会計、墓地事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計の計(会計間の相互取引等は控除)を普通会計という。

議会による行政評価・提言

平成23年度事務事業について、7月から9月にかけて議会による行政評価を実施しました。825の事務事業のうち、4常任委員会で53件の事業を検証し、9月26日に市へ提言を行いました。

提言の中から主なものを紹介します。



市長へ提言の模様

委員会	事務事業名	提言骨子
総務文教委員会	教育相談事業	不登校が長期に及んでいる子どもへの対策については、行政だけでなく民間組織と連携をとって対策を。
	災害対策備蓄事業	家庭内での備蓄について、さらに啓発をしつつ、市としては備蓄を拡大されたい。
社会委員会	健康診査事業	市民への一層の啓発や土日も含め検診機会の増加、地域との連携などにより、受診率をさらに向上されたい。
	地域福祉計画策定事業	地域福祉をどのように考え進めていくか、きちんと方向性を示し、地域ができることから取り組めるよう支援を。
産業経済委員会	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	専門家などの客観的な視点を取り入れ、経済効果のある戦略を推進されたい。
	自転車のまちづくり事業	厳しい財政下で行う事業であるとはいえない。同じ公費を使うなら地元市民が参加できる大会に。
建設環境委員会	飯田子どもの森公園管理運営事業	子どもの森公園と羽場公園とのあり方、機能分担等を再検討し利用を高めるべき。
	不法投棄対策事業	多方面に活動していく必要がある。重点事業として予算増も含め取り組まれたい。

※詳細は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください

<http://www.city.iida.lg.jp/>

引き続き 議会改革を推進

議会改革の取り組みは、議会改革・運営ビジョンを基に原案を「議会改革推進会議」で検討し、すべての議員が出席する「全員協議会」等で検討を加え、議会運営委員会で決定しています。必要によっては条例の改正、規則の制定等を行い、ビジョンの実現に向けて取り組んでいます。

議会だより182号に続き、7月以降に決定した事項を紹介します。

1 市民との対話の拡充及び常任委員会単位における調査研究の充実と政策立案能力の向上

- ・市民との対話の場の拡充を図るため、各種団体等との懇談会など委員会活動をさらに推進します。
- ・懇談会等の開催後は委員同士の討議を行い次の取り組みに繋げていきます。
- ・委員会所管事務調査を全議員が情報を共有し政策提言に繋げていきます。

2 市民の意見を反映した行政評価の確立と行政評価の決算・予算への連動

- ・行政評価にあたり、基本構想基本計画の着実な推進を図るため、市民生活の視点、人口目標や財政見通しなど長期的な視点に立って大局的に評価します。
- ・行政評価を政策提言や予算への反映に繋げ実効性のあるものとします。

3 委員会の自由傍聴の実現

- ・委員長の許可を必要とせず、委員会の自由傍聴を実施します。
- ・「飯田市議会委員会条例の改正」を行い、「飯田市議会委員会傍聴規則」を制定します。

4 子どもたちによる傍聴の学校側への働きかけとその実現

- ・議会のしくみ、役割などの簡単な説明と議会傍聴をセットで学校側へ提案します。
- ・議員による出前講座については、子どもの頃から行政や議会に関心を持ってもらう機会とするため、広報広聴委員会（検討中）の役割として位置付けていきます。

5 請願・陳情者の説明機会の保障

- ・請願・陳情者の説明機会の保障と趣旨説明を希望する請願紹介議員の取り扱いは、現状の委員会条例及び会議規則を確認し、積極的な活用を促進します。



議会改革推進会議の様相

6 議員間の自由討議の実現

- ・自由討議は、行政評価、議会報告会、議案審査等において、常任委員会を中心に実施します。
- ・議会報告会や行政評価における議員間の自由討議の更なる充実が必要なことから、「自由討議の位置づけ」を明確にして実践していきます。
- ・政策的な課題に係る議員間の自由討議については、全議員参加型の「政策討論会」のプロセスを経ることとします。

7 地方自治法第96条第2項による議決権の拡大

- ・現段階では議決事件の拡大は行わず、現在、議決事件としている基本構想基本計画について、責任をもって審議することとします。

8 インターネットによる映像配信

- ・本会議（代表・一般質問）の中継画像をユーストリーム（USTREAM）を使用しインターネット配信します。
- ・配信業務は委託とします。

9 議会報告会の継続実施に向けた根拠づけ

- ・飯田市自治基本条例に規定する開かれた議会運営を実現するため、議会報告会等の開催規定を追加します。

10 市民向けの政務調査及び委員会管外視察の報告の実施

①政務調査報告

- ・開催趣旨
各会派の政務調査報告を公開で行い、会派間の情報共有を行うことで互いの資質向上と研修の機会とします。

②委員会管外視察報告

- ・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会の管外視察の報告書（概要版）については、当該委員会の委員長自らが作成し、ホームページで公開します。また、議会報告会においては委員会活動の一環として市民の皆さんに報告します。

政務調査報告

政務調査費を活用し、平成24年4月から9月までに実施した各会派の調査研究活動の概要です。

9月26日には、政務調査研究報告会を議場で行いました。

※詳細は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください <http://www.city.iida.lg.jp/>



政務調査研究報告会の模様

会派のぞみ

■実施日 5月29日～30日

■調査事項

- ・東北新幹線新花巻駅（花巻市）
 - ・義務教育における学力向上について（秋田県）
 - ・災害ボランティアセンター（岩手県山田町）
- ほか

会派みらい

■実施日 7月29日～8月1日

■調査事項

- ・バイオスタウン構想について（宇部市）
- ・産業観光の取り組みについて（宇部市）
- ・中心市街地活性化について（山口市）
- ・世界遺産登録について（萩市）

公明党

■実施日 5月7日～9日

■調査事項

- ・5歳児発達相談事業（境港市）
- ・松江市役所伺います係（松江市）
- ・てくてくラジオについて（松江市）
- ・人口増加対策について（鳥取市）

市民パワー

■実施日 7月25日～28日

■調査事項

- ・法人後見の取り組みについて（岸和田市）
- ・平和事業について（広島市）
- ・孤立死対策について（北九州市）
- ・わいわい!コンテナについて（佐賀市）

庁舎建設特別委員会

十分な情報提供、市民意見の反映を

7月12日、8月24日、9月24日と開催し、新庁舎実施設計等について協議をしました。

7月12日「クロマツの保存に関する要望」に対する市の回答と輝山会記念病院からのクロマツ移植希望に対する一連の対応等について、説明がありました。

8月24日まちづくり委員会連絡会への説明の報告、実施設計の内容について等の説明があり、「新庁舎実施設計」について、市民の皆さんへの十分な情報提供と、市民意見が反映されるよう要望しました。

9月24日新庁舎実施設計に関する市民説明会の開催状況について報告がありました。

市側に対し、市民の皆さんからのご意見も尊重しながら実施設計を進めてもらうとともに、残りの地区で開催される市民説明会においても、丁寧な説明を行うよう要望しました。

管外視察の実施

8月10日県外の先進地視察を行いました。名古屋市中区役所、小牧市役所の、主に窓口関係レイアウトについて視察を行いました。

リニア推進対策特別委員会

早めの情報発信を

8月24日、9月24日と開催し、リニア中央新幹線をめぐる事項について協議しました。

8月24日「リニアを見据えた調査等の取り組みについて」報告・説明があり、将来を見据えた社会基盤整備のうち、土地利用計画と交通計画について、調査・計画のスケジュールが示されました。

「JR東海からの情報が少ないなかで、市として早めの情報発信の検討を」と要望しました。

9月24日「道路ネットワーク計画の調査について」、「環境影響評価に係る現地調査計画について」、及び「建設発生土活用ワーキンググループの設置について」の報告・説明があり、委員会として確認しました。

管外視察の実施

8月22日山梨県甲府市等へ視察を行いました。甲府市役所の担当者から取り組み等の説明を受け、また、実験線延長区間の工事の様様を視察しました。

が！ 市政を問う！

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。今回は9月に行われた第3回定例会での一般質問の概要を紹介いたします。(質問順)

桐林クリーンセンター 市としての説明責任は

原 和世 議員(会派みらい)

Q 南信州広域連合が設置主体である桐林クリーンセンターの現施設の廃止、移転新設は決まったが、市民に対して直接説明し、理解や合意を得るべきではないか。

A 広域連合が考え方を説明することが基本だが、立地している竜丘地区には出向いで説明してきた。理解を得るための説明は惜しむべきでなく、広域連合としての事業を一義的には連合長として、また飯田市長としても説明をしていく。

知のネットワークの中核に南信州 ならではの4年制大学が必要では

湯澤 啓次 議員(会派のみ)

Q 人材サイクルの構築には、知のネットワークが重要であるが、その中核として、4年制大学が必要と考えるがどうか。また、この地域にふさわしい大学とは。

A 様々な専門的知見が集積する4年制大学の設置は地域の悲願である。例えば、優れた技術力を更に伸ばすような工業系の分野、新しい生活スタイルや価値観を提供できるようなデザイン力を育成するデザイン系の分野の大学がこの地域に必要と考える。
■市民と共に創る市政運営について

改正育児・介護休業法 市は実態を把握しているか

福沢 清 議員(会派みらい)

Q 育児介護休業法が改正され、施行されたが、市内での普及状況はどうか、利用実態を市は把握しているか。

A 市内企業の取り組み状況や従業員の制度利用などの実態については、現時点では把握していない。県の「賃金実態調査」にあわせて調査することになっているので、調査方法を検討したい。

福祉政策 発言に実態とかい離はないか

内田 雄一 議員(日本共産党)

Q 市長は定例会挨拶の中で「社会的弱者に手を差し伸べることが行政の使命」と発言したが、実態とかい離はないか。現時点で市長の考える福祉は何か。

A 社会的弱者も含めて市民の皆さんが安心して暮らせるようなまら、づくりを政策の柱の一つとして、福祉政策を進めてきた。具体的には防災対策の構築、地域医療の充実が安心安全の要であると考えている。特に市立病院の充実力を入れてきた。

満蒙開拓平和記念館完成後、 利活用をどう考えるか

下平 勝熙 議員(市民パワール)

Q 満蒙開拓平和記念館が完成した後に、平和学習にどのように活用するか。

A 飯田下伊那地域の町村とともに南信州広域連合で、建設に向けた支援を進めている。この地域特有の満蒙開拓の歴史を知ることを入り口として平和の尊さを考え合う当地域なりの平和学習の推進が期待できるため、公民館での平和学習や、小中学校の平和教育等への活用を呼びかけていければと考えている。
■災害時対応について

木材利用促進計画の 検討状況は

清水 可晴 議員(市民パワール)

Q 飯田市の公共建築物や公共土木工事等における木材利用を促進する木材利用促進計画策定の状況は。

A 木材利用促進計画は現在策定中であり、庁内調整を経て年度内に策定する。健全な森林保全のための森林整備と、木材の地域内循環を推進するとともに、安定した木材利用を支援するために、計画は域産域消を基本におき、地元で生産された木材を優先的に利用することを柱とした。

二ツ山・三尋石住宅団地から 市立病院等を結ぶ 市民バス路線の考えは

牛山 満智子 議員(無会派)

Q 二ツ山住宅団地、三尋石住宅団地から市立病院、市街地を結ぶ路線の市民バス運行を始めるべきではないか。

A 基幹的なバス路線である駒場線沿線の西部、山麓線沿道地域は、公共交通空白、不便地域と認識している。西部山麓線沿道の公共交通対策は、駒場線を活用し、補完する形での新しい方策を、地元と相談しながら研究検討していきたい。

コンビニエンスストアにおける 証明書等の交付サービスの考えは

林 幸次 議員(公明党)

Q 行政サービス向上に繋がるコンビニエンスストアでの「証明書等の交付サービス」について見通しはどうか、また取り組む考えはあるか。

A 質の高いサービスの提供をするために日々改善に取り組んでおり、現時点では、対面業務を基本にしている。他市の状況は、自動交付機あるいはコンビニでの交付に取り組む自治体が増えてきている。国のマイナンバー制度の動向も考慮し、費用対効果を検証しつつ検討する。
■市長2期8年間の総括について

女性の視点を生かした 防災対策の取り組み状況は

村松 まり子 議員(公明党)

Q 介護や子育てといった経験を通し生活者の視点を持つ女性の防災会議等への参画状況は。また、避難所運営への女性の参画を考えているか。

A 現在の防災会議委員の構成は37人中女性委員は2人。法律の改正により、関係する条例の改正を第4回定例会に上程し、女性登用を図りたい。被災時における避難所運営方法やマニュアル作成に当たっては女性目線での内容となるよう女性参画を含めた手法についても考慮する。

イジメ問題の解決に 具体的な方策は

吉川 秋利 議員(会派のぞみ)
イジメ問題は、特に未然防止が重要であると思うが、教育委員会や学校での具体的な解決のための方策は。

A いじめ問題は、表に出てこないことに深刻さがある。「未然防止」、「起きたときの対応」が重要である。学校関係者を対象にカウンセリングや研修を行っており、昨年度から保護者にも参加を呼びかけている。また、起きたときには、子どもたちの状況を複数の先生で把握し、学年会や職員会で報告し合い、初期段階で対応している。

■保健行政について
■飯田商工会議所について

いじめで苦しむ子どもたちを なくすためには、どうすべきか

永井 一英 議員(公明党)
「どんないじめ」も絶対に許されない」が大前提。いじめた側が1000%悪い、いじめられている側は「どこも悪くない」。ここが大事だと考えるがどうか。

A 同感である。どのような理由があっても、いじめが正当化されることはなく、いじめという行為は絶対に許されないことを子ども、保護者、教職員が共通認識をし、子どもたちを守っていきたいと考えている。社会的問題となっている、この時をとらえ、深く考える機会としたい。

孤立死対策 地域との連携は

木下 容子 議員(市民パワー)
地域と連携した見守り、支援体制を作り上げることが地域づくりにもつながるかと考えるがどうか。

A 人と人との絆が弱くなっている中で、孤立死といった大きな問題が起きている。お互いに見守りができるような地域住民同士の結びつきをしっかりとつくり、安心して暮らせる地域づくりに繋げていくことが大切である。地域での助け合いの課題を考えるために、地域福祉懇談会を全地区で開催している。

■まちに賑わいを取り戻すための事業展開について

介護保険法改正による事業者 利用者への影響把握は

後藤 莊一 議員(日本共産党)
法改正により、介護報酬の改定が行われたが、影響を把握しているか。また、生活援助サービスの見直しの把握は。

A 法改正により介護報酬単価とサービス提供時間の変更が行われた。事業者からは厳しい運営をしているとの話を聞いている。介護報酬の単価は、サービスごとに異なることから、個別の事業所ごとの実態は把握できない。

また、月に1200件余のサービス件数があることから、個別のサービス事例の実態を把握することは困難である。

■農業振興策について
■小中学校における「いじめ」や「暴力」について

寝たきりにならず、生活の質が高い まま長く健康でいられるためには

木下 克志 議員(会派のぞみ)
運動、栄養、休養、社会活動が健康長寿の柱と分析されているが、特に、運動することについて市の事業は。

A 生活習慣病予防のためには日常的に適度な運動に取り組むことが必要である。地域健康ケア計画2012の重点プロジェクトの一つ「歩こう動こう 運動で健康づくり」を掲げ、ウォーキング、自転車、ラジオ体操、ストレッチといった身近な運動をきっかけとした健康づくりに取り組んでいる。

機能回復訓練の機会や 場の支援は

森本 美保子 議員(会派みらい)
治療や介護サービスの対象とならない機能回復訓練を実施する機会や場が求められている。制度の狭間で困っている人々への支援を行うべきかと考えるが、どうか。

A ニーズがあることは知っているが、医療と介護の狭間の問題であることから、サービス内容をはじめ、費用負担や実施主体のあり方など、様々な問題もある。今後の課題として研究する。

■保育園、児童クラブについて
■災害対策について

恐竜展示物と長谷川コレク ションの今後の活用は

清水 勇 議員(会派のぞみ)
美術博物館での恐竜展は終了したが、恐竜展示物の今後の利用方法は。また、長谷川コレクションの活用方法は。

A 恐竜展での全身骨格と生態模型は、美術博物館常設展示側のロビーへ展示をしていく計画である。また、長谷川コレクションは、追手町小学校化石標本室に展示し、年12回開館を予定しているが、恐竜展示とセットで美術博物館へも展示をするなど活用を図る。小中学校へも周知する。

■天竜川の濁りと川鵜について
■庁舎整備について

高等教育機関の設置を 目指すべきだが、市の考えは

新井 信一郎 議員(会派のぞみ)
文部科学省所管の高等教育機関設置を目指すことは必要かと思うが、どうか。一方で厚生労働省所管の県飯田技術専門校は、高等教育機関とは別に内容を充実させていくべきだが、どうか。

A 当地域は、県内他地域と比べて高等教育機関が少なく、地域を担う人材の育成確保は重要であり、そのために高等教育機関の設置を考えていく。飯田技術専門校は地域の大切な機関として充実していくよう、あらゆる可能性を検討しながら、支援していく。

■花き市場について
■公教育の現場環境について
■南アルプスに付随する道路環境について

市長の二期目に向けた 重点政策と政治姿勢は

原 勉 議員(会派みらい)
保育料の更なる引き下げ、子ども医療費無料化の高校生までの拡大、財政面での裏付けは。また、新庁舎整備について市民への説明、理解が十分か。さらに南信運転免許センター設置への取り組みは。

A 保育料軽減に現在約3億円使用、医療費の対象拡大には約3千万円必要。行財政改革大綱の実施により生み出していく。庁舎整備については、平成20年度から方針を示し、まちづくり委員会等へ説明してきた。また、免許センターについては、JR飯田駅周辺が最も相応しいと考えており、地域の意志を一本化して取り組んでいく。



一般質問での傍聴席の様様

総務文教委員会

第二回定例会以降、7月2・3日に管外視察、7月17日、9月10・26日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管外視察の様様を紹介いたします。

議案第89号

平成24年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案

Jアラート 周知方法は

▼全国瞬時警報システム(Jアラート)情報のau(KDDI)、ソフトバンク携帯電話へのメール

配信が可能となるこのことだが、市民への周知方法は。昨年もエリアメールの開始にあたって報道機関にお願いするなどした。今回も同様にした。

議案第92号

平成23年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

地域協議会 開催回数少ないが

▼地域自治組織運営事業に關し、地域自治協議会の実施回数が、あまりにも少ないが、今の状況をどう思っているか。

まちづくり委員会を中心に地域協議会のあり方について検討を継続してきている。庁内でも改善も含めて工夫を重ね引き続き研究していきたい。

複式学級解消 どの程度解消か

▼複式学級解消事業に關し、上村小学校に講師を一人配置しているというが、どの程度解消されるか。

講師は、通常の勤務であり、学級は複式だが、学年ごとに学習指導を担うことで解消を図っている。

市民意識調査 回収率が低い

▼市民意識調査事業に關し、回収率が半分しかないがどう考えるか。

問題意識は持っており、特に、若い人の回答率が低いので、携帯電話からの回答導入も考えていく。

ハザードマップ 危険箇所には落ちはないか

▼洪水ハザードマップ作成事務費について、ハザードマップに河川の冠水区域のような箇所が想定されていないのではないか。

ハザードマップは作成途上であり、指摘されたJR下のアンダーパスのようなスポット的な危険箇所についても反映できる工夫を検討していきたい。



JR下のアンダーパスの冠水現場

管外視察を実施しました

実施日：平成24年7月2・3日
調査項目：
①機能別消防団の取り組みについて(摂津市)
②セーフコミュニティの取り組みについて(亀岡市)



摂津市にて

請願・陳情審査 市民の願いはどようになった

請願3号

★慎重な審議の結果「採択」としました

○請願の要旨
国に対し、地方財政の充実強化を求める意見書を提出願いたい

○請願者
飯田市職員労働組合

執行委員長 後藤武志氏

○意見書の提出
地方財政の充実・強化を求める意見書として関係行政庁へ提出しました。

請願4号

★慎重な審議の結果「採択」としました

○請願の要旨
国に対し、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書を提出願いたい

○請願者
飯田市学校教職員組合

代表 水尻晃男氏

○意見書の提出
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書として国会及び関係行政庁へ提出しました。

請願5号

★慎重な審議の結果「採択」としました

○請願の要旨
国に対し、新たな教職員定数改善の計画の着実な推進と教育予算の増額を求める意見書を提出願いたい

○請願者
飯田市学校教職員組合

代表 水尻晃男氏

○意見書の提出
新たな教職員定数改善計画の着実な推進と教育予算の増額を求める意見書として関係行政庁へ提出しました。

社会委員会

6月27・28・29日に管外視察、7月18日、9月12日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管外視察の様相を紹介します。

議案第89号

平成24年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案

ポリオ予防接種 制度変更対応は

▼ポリオ予防接種について、年度途中で経口生ポリオワクチン接種から不活化ワクチン接種と制度変更となったが、異なる方法でのワクチン接種となったケースはないか。

接種方法変更前にすでに1回目の生ワクチンの経口接種が済んでおり、もう1回経口接種すれば完了する子どもは877人であった。市から全員に個別通知を発送し、生ワクチン接種の希望者320人については、医師会の協力を得て8月中旬に2回目の集団接種を行い完了している。

障害者虐待防止センター 窓口一本化の考えは

▼障害者虐待防止対策事業費について、障がい者に特化した虐待防止センターをつくるのとこの

とだが、児童や高齢者も含め窓口を一本化すべきと考えるがどうか。

児童、高齢者の虐待防止は先行して実施しており、障がい者も合わせ窓口の一元化の必要性は認識しつつ、今後の課題と捉えている。

議案第107号

議案第108号

和解をやることについて

2法人 返還方法異なるが

▼老人保護措置費の過払い分の和解案について、相手方の2つの法人からの返還方法が異なるが、市としてどのように対応してきたか。

返還にあたっては、相手方の経営に過度の負担が生じ、入所者の処遇に影響が及ぶことを最小限

議案第92号

平成23年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

養護老人ホーム 入所希望状況は

▼高齢化、核家族化が進んでいるが、養護老人ホームへの入所希望者はどの程度いるか。職員による見守りなど公共でフォローアップをすべきと考えるがどうか。また、施設増設の必要はないか。

入所判定会後20人程度の方が、入所待ちとなっている。フォローアッ

にとどめることを考慮した。長期償還については、市から両法人に同じように提案し、話し合いをしてきた。

議会として

再発防止を市へ要望

市は今回のことを重く受け止めて欲しい。また、再発防止を徹底するとともに市民への説明責任を果たして欲しい。

プについては、市や福祉関係者による在宅支援のしくみの中で取り組んでいる。また、現在、飯田下伊那管内に4つの施設がある。入所定員については町村の施設入所待機者が減少していることもあり、受入れ余地があるため、現在の施設で対応が可能と考えている。

公立保育園 民営化検討の状況は

▼県・上郷地区の民営化検討の進捗状況について、特に上郷地区では公立保育園を統合して民営化する方向で考えているか。

地元の検討委員会では公立4園を3園に統合する方向性が出されたので、今後は、9月上旬から中旬にかけて各園の保護者会に説明し、月末に開催する検討委員会で地区全体の意思統一を図って正式決定する予定であると聞いている。その後、地域から園舎建替の要望がある場合については、その手法として民営化も含めた話し合いを行っていくこととしている。

管外視察を実施しました

実施日：平成24年6月27・28・29日

調査項目：①東濃成年後見センター
(多治見市)

②耶馬溪(やばけい)ノーソンくらぶ
(大分県中津市)

③NPOエクスクラメーションスタイル
(京都市)

④高齢者世帯ゴミ出し支援：エコサポート事業
(日進市)



耶馬溪ノーソンくらぶにて

産業経済委員会

7月5・6日に管外視察、7月19日、9月14日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管外視察の様相を紹介します。

議案第88号

公の施設の指定管理者の指定について
(飯田市上村木材工芸品加工販売施設)

地元の就労の場として見込めるか

▼当該施設は、今後、就労の場として見込めるか。

現在、1名の臨時職員で対応

している。地域内の他の観光施設等と連携して活用していく。現状においても、受注が多い際はさらに雇い入れて対応している。今後も、雇用の機会を確保できるように取り組んでいく。

議案第89号

平成24年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案

工業団地周辺の地下水利用制限は

▼産業団地管理事業について、工業用水として活用できるか

産業団地周辺の地下の水量調査を行うとのことだが、地下水の利用制限はあるか。また、地下水の利用は周辺に影響がないか。地下水の利用制限はない。今回の調査は現状を把握するための調査であり、周辺への影響は調査結果により検討していく。



経塚原産業団地(伊賀良三日市場)

議案第92号

平成23年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

Uターン相談体制は

▼人材誘導事業について、Uターンの相談において農業分野への就労希望への対応は。また、相談希望者への休日の対応はどうか。

結びUターンキャリアデザイン室のスタッフとして農業課職員も在籍し、対応しており、実績も挙げている。原則は平日対応であるが、お盆や正月には相談会を開催している。相談の希望があれば対応していく。

丘の上商店街空き店舗解消は

▼にぎわい創出店舗活用事業について、丘の上商店街には空き店舗が目立ち始めているが、この事業の活用状況はどうか。

この事業は個店への支援を行うものではなく、商栄会を中心とした地域が一体となって取り組む事業を支援するもので、これにより中心市街地のにぎわいの創出を図っていく。

請願・陳情審査市民の願いはこうだった

陳情4号

★慎重な審議の結果

「趣旨採択」としました

○陳情の要旨

国に対し、十分な情報開示、国会審議、国民的議論などのプロセスを終えないまま、ITP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加表明を行わないよう求める意見書を提出願いたい

○陳情者

みなみ信州農業協同組合

代表理事組合長

矢澤輝海氏

○委員会での主な意見

・国民的な議論や具体的な判断基準を示すなど必要なプロセスは経るべきであり、願意は理解できる。
・賛成する意見もある。必要なプロセスは経るべきであるという願意は理解できるが、これまでの議会の議論も踏まえて判断すべきである。

管外視察を実施しました

実施日：平成24年7月5・6日

調査項目：

- ①産業支援センターの取り組みについて(富士市)
- ②フードバレーの取り組みについて(富士宮市)
- ③複合的な森林経営の取り組みについて(富士宮市)



富士市産業支援センター(f-Biz)にて

建設環境委員会

7月9・10・11日に管外視察、7月23日、9月19・26日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管外視察の様様を紹介します。

議案第84号

飯田市リニア中央新幹線開通を見据えた計画に基づく土地利用及び地域づくりの推進に資するための届出等に関する条例の制定について

無届けの場合 市の対応は

▼開発事業者等から届け出がされない場合、市の対応は。

地域へ届出について情報提供を行うことにより、地域から無届けの情報提供も受けることができる

議案第89号

平成24年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案

空き家の調査 把握後の対応は

▼建築指導費に関し、各地区まちづくり委員会の報告を受け、専門家による廃屋の現地調査を行い、腐朽や破損の程度を把握し、ランク分けするなど結果をまとめることだが、調査報告を受けてその後どうするか。

と考えており、地域の皆さんと情報を共有する中で対応したい。このほかパトロールの実施により把握し、指導を行っていく。現条例でも届出をお願いしているが、これまで無届けで行為がされた事例はない。

まずは使えない空き家で危険なものを把握する。

基本的には所有者の責任で対処すべきと考えている。

状況把握する中で、現在ある法令、条例等の活用について検討し、制度については他の自治体の例を参考に研究する。

議案第92号

平成23年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について

飯田市斎苑 運営見通しは

▼斎苑管理費に関し、下伊那北部5町村が共同設置を進める火葬場が完成し、運用を開始した場合、飯田市斎苑の運営見通しはどうか。

当該火葬場が運用を開始した場合、市の斎苑使用料等に少なからず影響がある。今後どうするか十分検討したい。

不法投棄対策 条例化への取り組みは

▼不法投棄対策事業に関して、条例化に向けた取り組みの進捗状況、めどはどうか。

条例のたたき台を環境衛生担当委員会連絡会で示した。9月に作業部会をつくり検討を進めていく。

橋の補修・更新 今のペースでよいか

▼573橋について健全度を把握したとのことだが、平成23年度の補修・更新が少ない。橋り

よりの補修、更新が今のペースでよいか。

点検については、市内すべての903橋は完了した。結果、167橋について補修工事が必要である。平成24年度において、重要橋りょうについて、修繕計画を策定する。重要度、緊急度に応じて進めていきたい。

請願・陳情審査 市民の願いはどくなった

請願6号

★慎重な審議の結果「採択」としました

○請願の要旨

国に対し、一般国道153号の指定区間編入を求め意見書を提出願いたい

○請願者

一般国道153号改良

期成同盟会

会長 牧野光朗氏

○意見書の提出

一般国道153号の指定区間編入を求め意見書として国会及び関係行政庁へ提出しました。

管外視察を実施しました

実施日：平成24年7月9・10・11日

調査項目：

- ① 姫路市環境アクションについて (姫路市)
- ② 景観計画について (倉敷市)
- ③ 広島市ばい捨て等の防止に関する条例について (広島市)
- ④ 下水道事業への法適用化と料金算定について (下関市)
- ⑤ アセットマネジメントの取り組みについて (福岡市)
- ⑥ 到津の森公園の取り組みについて (北九州市)



広島市にて

議会活動の紹介

ISO研修を受講しました



株式会社アース・グリーン・マネジメントの代田勇リサイクル推進室課長を講師に迎え、8月24日に第一委員会室にて受講しました。

改めてISO規格とは何か、地域ぐるみ環境ISO研究会の取り組みなど、約1時間ほど研修をしました。

議会報告会を開催しています

今年度は6会場で開催しています。既に10月17日(南信濃)、19日(山本)、24日(竜丘)、26日(座光寺)で開催しました。

今後は、次の日程で開催しますので、多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

開催日	該当する地区	会場
10月31日(水)	橋北、橋南、羽場、丸山、東野	羽場公民館
11月2日(金)	下久堅、上久堅、千代、龍江	下久堅公民館

時間：午後7時～9時を予定

■意見交換会でのテーマ

- 第1分科会(総務文教委員会)
住民参加による地域活動のあり方としての男女共同参画について
- 第2分科会(社会委員会)
共に支えあう地域福祉の推進について
- 第3分科会(産業経済委員会)
地域資源の掘り起こしと活用について
- 第4分科会(建設環境委員会)
ごみのないキレイなまちを目指して

市議会ウォッチング



この欄では、傍聴者からのアンケートにより、市議会へ寄せられた市民の皆様の声を紹介します。

□本会議について

◆議員がわかりやすく項目について市長に質問している様子、市民の声を代弁して話す様子が良かった (男性)

◆議員は市民の代表であるので考え方を共有し市政発展のために関心を高めることが大切だと思います (男性)

委員会が自由に傍聴できるようにになりました

これまで委員会を傍聴するには、委員長の許可が必要でしたが、議会改革の一環として、今後開催される委員会を自由に傍聴していただけるようになりました。

委員会の日程は飯田市議会のウェブサイトに掲載します。日時・場所を確認してお越しください。

なお、会場の都合により人数を制限する場合がありますので、団体での傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局まで連絡をお願いします。

議会傍聴におこしください

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、どなたでも自由に傍聴できます。(席に限りがあるため、団体での傍聴希望の場合は、事前に下記までご連絡ください。) 会議録もご覧ください。<http://www.kaigiroku.net/kensaku/iida/iida.html>

編集後記

「表紙の写真がよかった」、「レイアウトが良く記事全体が読みやすかった」…。市民の皆さんから寄せられた市議会だよりへのお声の一例です。

前前号から紙面を大幅に刷新しましたが、概ね評価を頂いているのかなとほっとしております。

飯田市議会はお伝えする(広報)だけでなく、お聴きすること(広聴)を重視していくことになりました。今後ともご意見ご感想を是非お寄せください。より親しみやすく分かりやすい広報誌に向け、更なる努力をして参りたいと思います。

議会の動き(予定)



■第4回定例会は11月28日(水)から始まります。

日程の詳細はウェブサイトをご覧ください。

◆議会への請願・陳情の締切は11月22日(木)午後5時です。

編集委員

委員長 上澤義一 副委員長 村松まり子
委員 湯澤啓次 吉川秋利 永井一英
内田雄一 下平勝照 井坪 隆